◇◆◇◆◇◆

意と識見を有する者のうちから、地域学校協働活動推進員を委嘱することができる。

２ 地域学校協働活動推進員は、地域学校協働活動に関する事項につき、教育委員会の施策に協力して、地域住民等と学校との間の情報の共有を図るとともに、地域学校協働活動を行う地域住民等に対する助言その他の援助を行う。

＜文部科学省「地域学校協働活動の推進に向けたガイドライン」より＞

ア 「地域学校協働活動推進員」は、各地域学校協働本部における地域学校協働活動の企画・連絡調整役として、主に以下のような役割が期待される。

・ 地域や学校の実情に応じた地域学校協働活動の企画・立案
・ 学校や地域住民、企業・団体・機関等の関係者との連絡・調整
・ 地域ボランティアの募集・確保
・ 地域学校協働本部の事務処理・経費処理
・ 地域住民への情報提供・助言・活動促進 等

イ 地域住民等を良く知り、学校関係者とも円滑にコミュニケーションがとれる地域学校協働活動推進員が地域と学校との間を調整することで、地域と学校がパートナーとして協働することができる。推進員は地域と学校の橋渡し役として、学校側の事情や地域の要望を十分に理解し、地域学校協働活動が学校運営の改善に結びつくよう、双方に働きかけることが大切。

ウ 地域学校協働活動推進員に望まれる資質・能力としては、主に以下のようなものが考えられるが、教育委員会は、地域や学校の特色や実情に応じて、推進員に求められる資質・能力を明確にして、適切な人材を確保していくことが重要。

・地域学校協働活動の推進に熱意と識見を有する
・地域学校協働活動への深い関心と理解がある
・地域の住民、団体、機関等の関係者を良く理解している
・学校の実情や教育方針への理解がある
・地域住民や学校、行政関係者等と協力して活動を円滑に進めることができるコミュニケーション能力があり、関係者を説得し、人を動かす力がある
・地域課題についての問題提起、整理、解決先の構築等を仲間と共に進めることができるファシリテート能力にたけている 等

現在、本研修会の報告書を作成中ですので、後日、ＨＰ「まなびネットいわて」に掲載いたします。

今回はそれに先駆けて、講師の資料より、講義内容を少しだけ紹介させていただきます！

テーマ
「子どもたちを地域全体で育てるためにコーディネート力を高めよう」
講　師　特定非営利活動法人　まなびのたねネットワーク
代表理事　伊勢　みゆき　氏

◎コミュニケーション能力とは？
「人を理解すること」
「人に（自分を）理解してもらうこと」

◎良いチームとは？
・明確な目標設定
目標が明確であり、方向性や想いが同じであること
・自律性
チームメンバーそれぞれの当事者意識が高く、各々主体性を持って行動できること
・向上心
失敗を含めた経験から状況をより良くするために常に学ぼうとする意識があること
・役割の分担
チーム内での役割分担をはっきりすることで、チームの中でどのような行動が期待されるかを理解し、またそれぞれの作業に対してフォローし合うこと
・情報共有
思いやりや気遣いがメンバー間にあり、密なコミュニケーションによる情報の共有がしっかりと行われていること

◎学校を核とした地域づくり（地域学校協働活動）とは
・地域の人のつながりをしっかりつくることである
（学校の応援団をつくることではない）
・地域に誇りを持つ人材の育成を推進し、地域力の強化につなげていく
・地域を担う人材の育成につながるキャリア教育や、地域に誇りを持つ教育を推進する
・「支援から連携協働へ」「一方向から双方向へ」「個別から総合化へ」
・大人が地域でのつながりをつくり、子どもを真ん中にしてチームになって動くこと

◎組織の成功循環モデル
・グッドサイクル
互いに尊重し、一緒に考える（関係）
気付き、共有し、当事者意識を持つ（思考）
自発的に行動する（行動）
成果が出る（結果）

信頼が高まる（関係）
・バッドサイクル
成果が出ない（結果）
対立し、押し付ける（関係）
面白くない、受け身（思考）
自発的に行動しない（行動）
更に成果が出ない（結果）
信頼の悪化、自己防衛（結果）

◎ボランティアマネジメント
・活動中のサポート
スーパービジョン（評価・管理・教育・支援）
→「どうだったか？」「こうした方が・・・」
「いつ、何を？」「～しやすい」
リコグニション（承認・認知・謝意）
→認める、受け入れる、「ありがとうございます」
環境の整備
→名札、服装、荷物置き場など
・評価による活動の見直し

なお、地域学校協働活動推進員（コーディネーター）の研修会は、県内各教育事務所主催でも開催されています。

先日、県南教育事務所主催の研修会に参加する機会がありましたが、経験豊富なコーディネーター（地域学校協働推進検討委員会委員）の方々が部会のコーディネーターを務めていました。各部会では、コーディネーター、学校教員、教育委員会担当者が配置され、それぞれの立場からの発言や質問がうまく交流するように工夫されていました。情報交換会では、「学校側・コーディネーター側それぞれに事情があり、お互いに一定の配慮は必要であるが、過度に遠慮しすぎることなく、児童生徒の教育活動や地域づくりを積極的に推進するために、価値ある活動を行っていくこととそのための環境づくりが必要である」との話題が出ていました。

同研修会では、私も説明等をさせていただく機会がありました。地域学校協働活動をコーディネートしていく視点として、以下のポイントを示しましたので、ご参考としていただければ幸いです。

① 地域側・学校側の目標の共有の場面を設定する
② 地域側・学校側の目標達成や課題解決につながる活動を企画する
③ 子どもや大人の主体性を大切にし、関わる場面を意図的に作る
④ ②・③を行うため、意図的な役割分担を行う
⑤ 系統的に、次の活動につながる内容とする
⑥ 発表の場や肯定的評価を受ける場を設定する
⑦ ＰＲ・アピールを積極的に行う

⑧ 現在の活動をベースに、①～⑦の視点を盛り込む

★――――――――――――――――――――――――――――――――――――――★
各種研修会の開催要項を随時掲載しています
（本年度の研修会も、残り少なくなっています！）
★――――――――――――――――――――――――――――――――――――――★

【今後の研修会等実施予定】
１２月１４日（火）　子育て支援活動交流研修会【延期後】
２月　３日（木）～４日（金）
県生涯学習推進研究発表会
１４日（月）　子育て・家庭教育相談担当者研Ⅱ

※申し訳ありませんが、既に申し込みを締め切っているものもあります。
※開催要項・実施報告書は、当センターのＨＰ「まなびネットいわて」でご覧ください。（中段の「新着情報」または上段の「事業計画・研修講座要項」内に掲載中）
↓↓↓↓↓
http://www2.pref.iwate.jp/~hp1595/

※開催の有無、実施方法・内容の変更等があれば関係各所に通知します。
（ＨＰでもお知らせします。）

【生涯学習電話相談「マナビィコール」】
研修会・講師情報等のお問い合わせ等は下記までお気軽にどうぞ！
当センターで行っている「学び」全般の相談ダイヤルです。
↓↓↓↓↓
http://www2.pref.iwate.jp/~hp1595/soudanshien/manabiikoru.html

||||||||||||||||||||||||||||||||||||||||||||||||||||||||||||||||||||||||||||||
▸ご意見・ご感想、登録・登録解除等は下記アドレスまで
⇒　E-mail；mag-manabee@pref.iwate.jp

▸生涯学習・社会教育関連情報は当センターＨＰから
⇒　http://www2.pref.iwate.jp/~hp1595/

▸ 当センターの情報を SNS にて配信中
【Facebook】https://www.facebook.com/manabinetiwate/
【 Twitter 】https://twitter.com/manabinetiwate Facebook・Twitter

|||||||||||||||||||||||||||||||||||||||||||||||iwatemanabeemagazine||||||
発　行：岩手県立生涯学習推進センター　（花巻市北湯口 2-82-13）
編　集：菊池　一洋